

第1回

令和6年 5月11日(土) 10時~12時

教材番号 26 スマホ！うちではどうする？！ (アレンジ版)

実施機関・団体等	社会福祉法人 さくら福祉会 児童家庭支援センター コスモス
参加者数	親15名、親子1組、その他2
ファシリテーター	メイン ：中丸 直見さん サブ ：神原 彩乃さん、永谷 紀美子さん、西田 弘展さん、藤嶋 教子さん、 光井 祐子さん

● 講座の様子

目的

最近、スマホ依存から家庭内のトラブルに繋がる相談が増えている。スマホの取扱方法や医療、療育の専門的な研修ではなく、親子の信頼関係の大切さ、家族がどう向き合えば良いのかを考えるきっかけにしてほしい。

1. オリエンテーション

あいさつ、親プロの説明、ファシリテーターを紹介。



2. アイスブレイク

絵本「ママのスマホになりたい！」をメインファシリテーターが朗読。

- ・子どもは親が大好き！親も子どもが大好き！
- ・スマホを触っている時間が長いのは、子どもだけでなく、親も見ているよ！ということに、気づいてもらってからテーマに入った



メインファシリテーターがグループ分けをして、席を移動。
グループ内で自己紹介をしてもらう。

3. 3つの約束プラス1を確認して、プログラムに沿って進行。

設問③「最近、スマートフォン等の利用について、心配なことや気づいたこと、感じていることがありますか？」では、グループ内で各自の意見を付箋に書いて話し合い、その結果を発表し、全員で共有した。

- ・「スマホは悪い」という意見だけでなく、写真を保存して思い出が残せたり、漢字や分からないことをすぐに調べることができる等「スマホにも良い点がある」という意見が出たグループがあり、いろんな意見が共有できた。



設問④「あなたの家庭では、スマートフォン等を使う際に、どんな約束やルールがありますか。」では、家庭内でのルール作りやルールを守るためには、どうしたらよいか、などを話し合った。

- ・各家庭の今の状況を話し合うことで、これから楽しくスマホと付き合うヒントがもらえたり、ルールについて見直すきっかけになった。

4. 最後は、参加者に1人ずつ「今日の気づき」を発表してもらった。



● ファシリテーターの感想

- ・身近なテーマで、話がとても弾んだ。
- ・はじめは声がかでよかった班も、最後は時間が足りないくらい盛り上がった。
- ・アイスブレイクでの本読みは、これからの展開を想定でき、参加者に安心してもらえたように思う。
- ・最後に全員の気づきを発表してもらうのは、今の生の気持ちが出て良かった。
- ・メインとサブの連携が大切であると改めて感じた。

■ 主催者から

親プロ講座は、回を重ねるごとに、愛のある温かい場になっていて感謝します。